

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府宮新金岡3丁目8番第2期高	階数	地上14F
建設地	大阪府堺市北区新金岡町3丁8-2	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二	平均居住人員	XX 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 0.0	評価の実施日	2016年12月1日
敷地面積	8,046 m ²	作成者	株式会社林設計事務所 大西
建築面積	1,107 m ²	確認日	2016年2月1日
延床面積	13,021 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 97%

③上記+②以外の 97%

④上記+ 97%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	府営住宅として、安全性・経済性を重視した良質な住環境を創出し、人と街にやさしい『まちづくり』を行います。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	各住戸には南面するバルコニーを設け、採光・通風を確保し各住戸の遮音性能については、重量床衝撃音対策等級2を確保し、断熱性能については、省エネルギー対策等級3を確保しております。	Q2 サービス性能 バリアフリー新法の『移動円滑化誘導基準』を満たし、車いす利用者・高齢者にも配慮しております。
LR1 エネルギー	各住戸は、外皮に2方向(南面・北面)面しており、自然通風・自然採光を確保する計画としております。	Q3 室外環境(敷地内) 景観については、単調なデザインを避けるため、低層部と高層部には色彩の変化をつけております。また、死角のない計画とすることが、防犯に配慮しております。
	LR2 資源・マテリアル 杭については高炉セメントを使用しており、床フローリング下地のパーティクルボードについても、リサイクル材を使用しております。	LR3 敷地外環境 敷地内には、透水性インターロッキングを使用しており、雨水貯留槽を設けることで、都市洪水等に配慮しております。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪府宮新金岡3丁目8番第2期高層住宅(建て替え)建築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市新金岡町3丁8-2	1	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 13,021.00 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減		評価項目	スコア	評価点
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.1	3
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	2.0	3
		住居・宿泊部分	2.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.0		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	対象外		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.0		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	1.0	3
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	2.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	